

第57期 報告書

2018年4月1日 ~ 2019年3月31日

HEPHAIST®

それは価値を創造する個性ある集団です。



第58期経営方針

『不易流行』

生産や業務の「不易と流行」を再確認します。失敗は次の手掛かりとし、そこで流行を起こせば、成功に近づきます。

代表取締役社長 尾崎浩太

皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

当社第57期報告書をお届けするにあたり、平素のご支援を深く感謝し、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用及び個人消費の改善や、省人化を中心とした設備投資の増加が続いてきましたが、年度後半における海外景気の減速の影響により、先行きへの不透明感が高まりました。中国においては、米中貿易摩擦の激化による輸出減少、設備投資の落ち込み等により、景気は減速しました。

このような状況のもと、当社グループは「不易流行」を経営方針に掲げ、経営理念等のいつまでも変化しない本質的な「不易」に、時代や環境に合わせて変えるべき「流行」を取り入れて行き、設備投資等により生産性向上に取り組んで参りました。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,750,151千円（前連結会計年度比4.8%増）となりましたが、納期対応のために人件費や外注加工費が増加し、また、修繕費等の増加もあり、利益面では経常利益は177,274千円（前連結会計年度比24.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は111,975千円（前連結会計年度比32.7%減）となりました。

主力製品であります直動機器につきましては、産業用機械向けの需要増加の機会を捉えて受注対応に尽力してきましたが、半導体業界向け等の製品が減少したことにより、当連結会計年度の売上高は1,617,105千円と前連結会計年度と比べ11,650千円の減少（前連結会計年度比0.7%減）となりました。

精密部品加工につきましては、レース用部品を中心に顧客からの高精度化や短納期の要望に応え続けたことで売上が増加し、売上高は847,569千円と前連結会計年度と比べ118,039千円の増加（前連結会計年度比16.2%増）となりました。

ユニット製品につきましては、中国の液晶工場向けの減速はあったものの、国内企業向けに販売を伸ばし、売上高は285,476千円と前連結会計年度と比べ19,788千円の増加（前連結会計年度比7.4%増）となりました。

次期の見通しにつきましては、中国経済の減速や米国政策の影響による輸出の低迷、原材料価格の上昇、労働力不足、消費税増税による経済への悪影響も懸念される一方で、長期的には中国におけるディスプレイ分野の成長、東京オリンピックや大阪万博に関連した需要、IoTやAIの進展による省人化や合理化の設備投資の期待もであると予想されます。

このような状況のなか、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高2,603百万円（前連結会計年度比5.3%減）、営業利益178百万円（前連結会計年度比0.5%増）、経常利益178百万円（前連結会計年度比0.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益115百万円（前連結会計年度比3.6%増）を見込んでおります。

当社グループの業績は主要市場である産業用機械業界、電子部品業界及び自動車関連業界等の国内・海外における設備投資の動向に大きく影響を受けております。

当社グループは、このような事業環境の中で、納期遵守を第一の課題と認識し、顧客満足度の向上のため、営業・技術・製造の三位一体体制の更なる強化による顧客対応力の向上、QCDの追求による製品力の向上、固定費・変動費の削減等を強力に推し進め、収益の向上及び経営基盤の強化に努めて参ります。

主な重点方針は以下のとおりであります。

- ① 生産能力増強とコストダウンによる採算性向上
- ② 顧客ニーズに適合した応用製品の開発と販売
- ③ 提案型技術営業による新規顧客開拓

（注）QCDとは、高品質（Quality）、低価格（Cost）、短納期（Delivery）の略。

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つと認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、配当を行うことを基本方針としております。

この方針のもと、第57期の配当につきましては、1株当たり4円の配当を実施させていただくこととなりました。

第58期の配当金につきましては、1株当たり年間4円を実施する予定です。

株主・投資家の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019年6月

TOPICS

工場間交流会

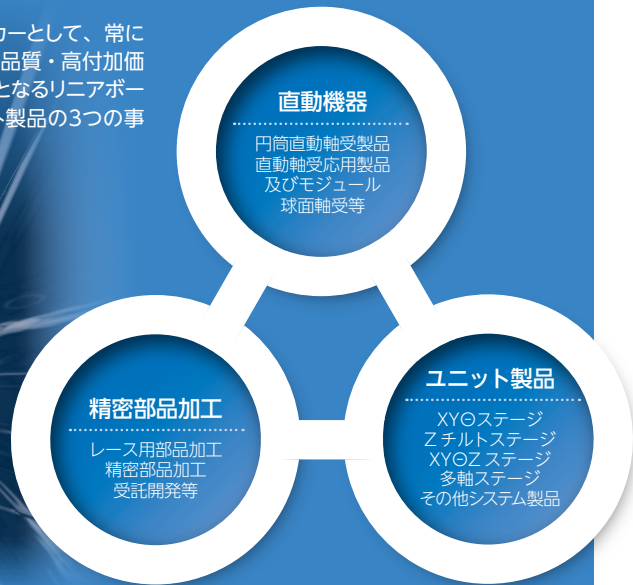
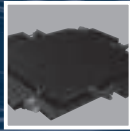
2018年7月13日に秋田工場の社員が本社埼玉工場を見学。創立記念日の各種表彰を行いました。翌日には川越・都内観光をしました。

工場間の連携をさらに強化し、目標に向かっての一体感が増しました。



事業概要

当社は、1962年（昭和37年）の設立以来、リニアボールブッシュのパイオニアメーカーとして、常に新しいテクノロジーを追求し、多様化するニーズに応えるべく技術力と創造力により高品質・高付加価値製品を提供して参りました。これからも長年蓄積した固有技術を活かし、事業の柱となるリニアボールブッシュなどの直動機器、精密部品加工及びポジショニングステージなどのユニット製品の3つの事業領域を中心に新たな分野へ挑戦し、企業価値の拡大を目指して参ります。



連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	57期	56期 (ご参考)
	2019年3月31日	2018年3月31日
資産の部		
流動資産	2,628,019	2,709,303
固定資産	2,265,600	2,226,569
有形固定資産	2,063,189	2,048,881
無形固定資産	17,852	20,423
投資その他の資産	184,559	157,264
資産合計	4,893,619	4,935,872
負債の部		
流動負債	1,137,338	1,162,943
固定負債	381,609	508,322
負債合計	1,518,948	1,671,266
純資産の部		
株主資本	3,369,049	3,251,924
その他の包括利益累計額	5,622	12,682
純資産合計	3,374,671	3,264,606
負債純資産合計	4,893,619	4,935,872

連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	57期	56期 (ご参考)
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
売上高	2,750,151	2,623,973
売上原価	2,059,027	1,895,073
売上総利益	691,124	728,900
販売費及び一般管理費	513,144	503,574
営業利益	177,979	225,326
営業外収益	11,492	13,597
営業外費用	12,197	4,169
経常利益	177,274	234,753
特別利益	67	313
特別損失	1,434	2,202
税金等調整前当期純利益	175,907	232,863
法人税、住民税及び事業税	68,836	65,972
法人税等調整額	△4,904	488
親会社株主に帰属する当期純利益	111,975	166,402

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	57期	56期 (ご参考)
	2018年4月1日から 2019年3月31日まで	2017年4月1日から 2018年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー①	254,249	422,226
投資活動によるキャッシュ・フロー②	△ 211,497	△ 211,998
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 199,020	△ 50,469
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,791	2,300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 161,060	162,058
現金及び現金同等物の期首残高	1,112,626	950,567
現金及び現金同等物の期末残高	951,565	1,112,626

連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

57期 2018年4月1日から 2019年3月31日まで	株主資本				株主資本 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	
当期首残高	717,495	664,455	1,870,689	△ 715	3,251,924
当期変動額					
譲渡制限付株式報酬	15,057	15,057			30,114
剰余金の配当			△ 24,964		△ 24,964
親会社株主に 帰属する当期純利益			111,975		111,975
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	15,057	15,057	87,011	△ 0	117,125
当期末残高	732,552	679,512	1,957,701	△ 716	3,369,049
	その他の包括利益累計額				
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		純資産合計
当期首残高	2,551	10,130	12,682		3,264,606
当期変動額					
譲渡制限付株式報酬					30,114
剰余金の配当					△ 24,964
親会社株主に 帰属する当期純利益					111,975
自己株式の取得				△ 0	△ 0
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)	△ 2,647	△ 4,412	△ 7,060		△ 7,060
当期変動額合計	△ 2,647	△ 4,412	△ 7,060		110,065
当期末残高	△ 95	5,717	5,622		3,374,671

連結貸借対照表のポイント

資産の部

現預金は前期と比べ161,060千円減少し、たな卸資産が96,000千円、機械装置及び運搬具が35,498千円増加しました。

設備投資の総額は169,447千円となりました。

負債の部

仕入債務は前期と比べ45,497千円増加し、長期借入金が147,516千円減少しました。

純資産の部

利益剰余金は前期と比べ87,011千円増加しました。

連結損益計算書のポイント

売上原価は、人件費、外注加工費、修繕費等が納期対応のため増加しました。営業外費用に為替差損8,322千円計上しました。

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

① たな卸資産の増加により、資金が減少しました。

② 固定資産の取得により、資金が減少しました。

③ 借入金の返済により、資金が減少しました。

連結株主資本等変動計算書のポイント

純資産は、資本金、資本剰余金及び利益剰余金が増加しました。

株式の状況

株式の状況 (2019年3月31日現在)

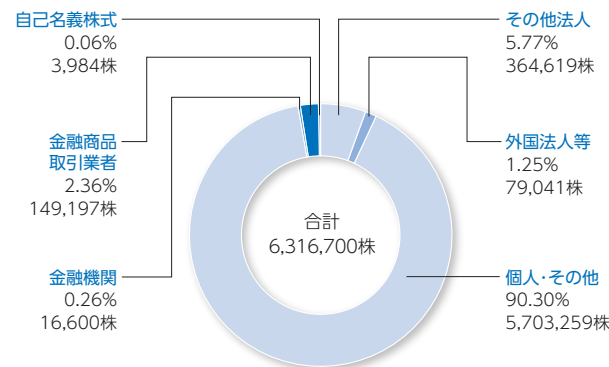
会社が発行する株式の総数	18,720,000株
発行済株式の総数	6,316,700株

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
尾崎 浩太	1,142	18.09
尾崎 文彦	1,040	16.48
尾崎 久壽彌	694	11.01
株式会社376	161	2.56
金井 俊和	86	1.36
高水 永夫	81	1.28
THK株式会社	50	0.79
ヒーハイト精工社員持株会	46	0.74
富永 均	45	0.72
松井証券株式会社	38	0.60

(注) 1. 持株比率は自己株式 (3,984株) を控除して計算しております。
2. 尾崎久壽彌氏は、2017年11月に逝去されましたが、2019年3月31日現在、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

所有者別株式数 (2019年3月31日現在)



第57期定時株主総会に関するご報告

2019年6月26日開催の第57期定時株主総会における報告内容及び決議内容は、下記の通りです。

記

報告事項

第57期 (2018年4月1日から2019年3月31日まで) 事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件

本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

本件は、原案どおり承認可決されました。期末配当金は、1株につき4円となります。

第2号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案どおり、監査役として荒井寿晃氏、菅野浩正氏が選任され、それぞれ就任いたしました。

第57期期末配当金のお支払いについて

本総会の決議により、第57期期末配当金は1株につき4円と決定いたしました。

1. 口座振込をご指定いただいている株主様は、同封の「第57期期末配当金計算書」及び「配当金振込先ご確認のご案内」によりご確認ください。

株数数比例配分方式を選択されている株主様の配当金のお振込先につきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
2. 口座振込をご指定いただいていない株主様は、同封の「第57期期末配当金領収証」により、払渡期間中 (2019年6月27日～2019年7月27日) に最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で配当金をお受け取りください。

会社の概要

会社の概要 (2019年3月31日現在)

社名 …… ヒーハイト精工株式会社

本社 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1

埼玉工場 …… 〒350-1151 埼玉県川越市今福580番地1
[敷地面積16,677㎡ 建物面積7,280㎡]
TEL 049-273-7000 (代表)
FAX 049-273-7001

秋田工場 …… 〒010-1653 秋田県秋田市豊岩小山山下田454番地
(豊岩工業団地内)
[敷地面積36,292㎡ 建物面積4,525㎡]
TEL 018-828-0111
FAX 018-828-1192

海外 …… 赫菲(上海)軸承商貿有限公司 (中華人民共和国)

設立 …… 1962年 (昭和37年) 7月19日

資本金 …… 732,552,000円

従業員 …… 115人 (53)
(外、平均臨時雇用者数)

役員 (2019年6月26日現在)

代表取締役社長	尾崎 浩太
専務取締役	尾崎 文彦
常務取締役	福留 弘人
取締役	菜花 有三
取締役 (社外)	天野 雅人
常勤監査役	荒井 寿晃
監査役 (社外)	上條 弘
監査役 (社外)	菅野 浩正

執行役員 佐々木 宏行

株主メモ

事業年度 …… 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 …… 毎年6月

期末配当金受領株主確定日 …… 3月31日 (中間配当を行う場合、毎年9月30日)

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 …… 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号

電話 …… 0120-232-711 (フリーダイヤル)

上場金融証券取引所 …… 東京証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)

証券コード …… 6433

単元株式数 …… 100株

公告の方法 …… 電子公告の方法により行う。

公告掲載URL …… <http://www.hephaist.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【株式会社のお手続きに関するお問い合わせ】

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部テレホンセンター
(東京) フリーダイヤル 0120-232-711
受付時間: 土・日・祝祭日を除く 平日9:00~17:00

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

※ 本誌には、ヒーハイト精工の将来に関連する記述があります。この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれていることにご留意ください。

以上